

協働による まちづくり

仙台

手を取り合い
豊かさを実感できる
まちを目指して

カラフルな円は多様な主体を、それらをつなぐ黄色い図形はネットワークを表現。
たくさんのネットワークが構築されていく協働のイメージを、さまざまな形のつながりで表している。

協働で進める仙台のまちづくり

「協働」で実現！

心豊かに暮らし続けられるまち・仙台

仙台市では、持続可能な「誰もが心豊かに暮らし続けることができるまち」の実現を目指して、協働によるまちづくりを進めています。市民活動団体、地域団体、教育機関、事業者、行政などのさまざまな団体・組織が、それぞれの専門性や強みを生かし、連携・協力しながら地域の課題解決やまちの魅力向上に取り組んでいます。

「協働」ってどんなこと？

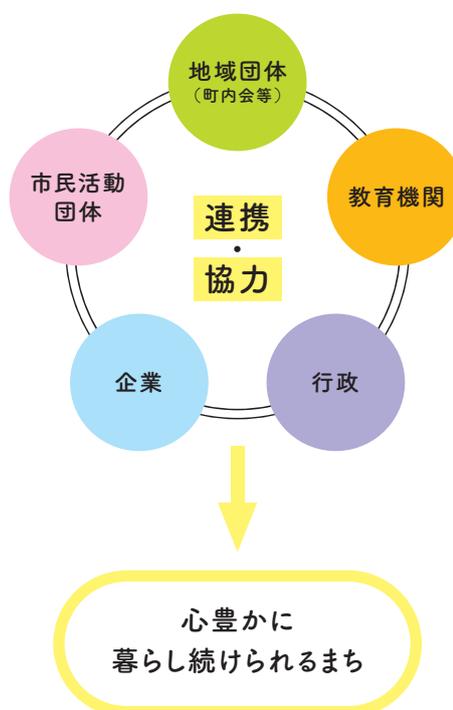
協働とは、まちをより良くするために、複数の団体が目的を共有し、役割分担して一つの事業（プロジェクト）を進めること。いくつかの団体が連携し、お互いの特性や得意分野を生かし、不足する部分を補い協力しあうことで、一つの団体ではできなかったことができるようになったり、個別に取り組むよりも大きな効果を生み出すことが期待できます。

右ページ掲載の「協働の手引き」でより詳しく解説しています

「協働」でどんなことができるの？

協働の力は、コミュニティづくり、ごみ減量・リサイクル、安全安心のまちづくり、高齢者の見守り・支えあい、多文化共生、子育て支援など、幅広い分野で発揮することができます。

右ページ掲載の事例集「協働まちづくりの実践」でさまざまな事例を紹介しています



地域団体 × 教育機関 × 市民活動団体 × 企業

地域の取り組みを次代へつなぐために ～青葉区川平学区連合町内会の取り組み～

川平学区連合町内会は、1979（昭和54）年の設立以来、学校や地域の各種団体と連携してさまざまな活動に取り組んでいます。特に自主防災には力を入れてきたので、東日本大震災の際は、地域独自の災害対策本部の設置や避難所の開設・運営なども迅速かつ確に行うことができました。震災後は、町内会独自の防災訓練として、地域住民の安否確認訓練などをおこなっているほか、震災時の教訓を生かしてあらたに地域のスーパーやガソリンスタンドと協定を締結するなど、さらに連携の輪を広げています。

第3期仙台市協働まちづくり推進委員会委員
仙台市連合町内会長会副会長・川平学区連合町内会会長
島田 福男さん



学校とも緊密に連携し、登下校の見守りや校外学習の引率補助、除草など「地域の応援団」として子供の学びを支えています。一方で、近年は地域住民の高齢化に対応するため、委員会をあらたに設置し、住民にアンケートを実施。それに基づき、行事の見直しなど役員の負担軽減策について検討しています。役員の成り手不足が大きな課題となっていますが、子供から高齢者までみんなが地域で支え合えるよう、地域福祉にも一層力を入れているところです。

右ページ掲載の協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」や事例集「協働まちづくりの実践」でもさまざまな事例を紹介しています

仙台の協働のあゆみ ~みなさんの活動を支える仕組みづくりを進めています~

市民活動と東日本大震災

仙台では古くから市民活動が盛んで、市民の力で魅力あるまちづくりを進めようと、さまざまな分野で活動がおこなわれてきました。東日本大震災では、避難所の運営や、被災された方などの生活支援や心のケアなど、地域においてさまざまな課題が浮き彫りになりました。こうした中で、かねて

から活動が盛んであった地域団体や市民活動団体、NPO等が、ほかの組織や団体と連携し「協働」することで、複雑な課題に対応し、復興を支える大きな力となりました。震災は、あらためて「協働」の必要性を考えるきっかけとなったのです。

協働によるまちづくりのはじまり

そこで仙台市では、条例を改正し、2015(平成27)年に「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」を制定し、同時に、協働によるまちづくりの実現に向けて必要なことを話しあう「仙台市協働まちづくり推進委員会」を発足し

ました。委員会や市民の皆さんの意見も取り入れながら、地域課題の解決や、まちの魅力向上のために活動する皆さんを支える仕組みづくりを進めています。



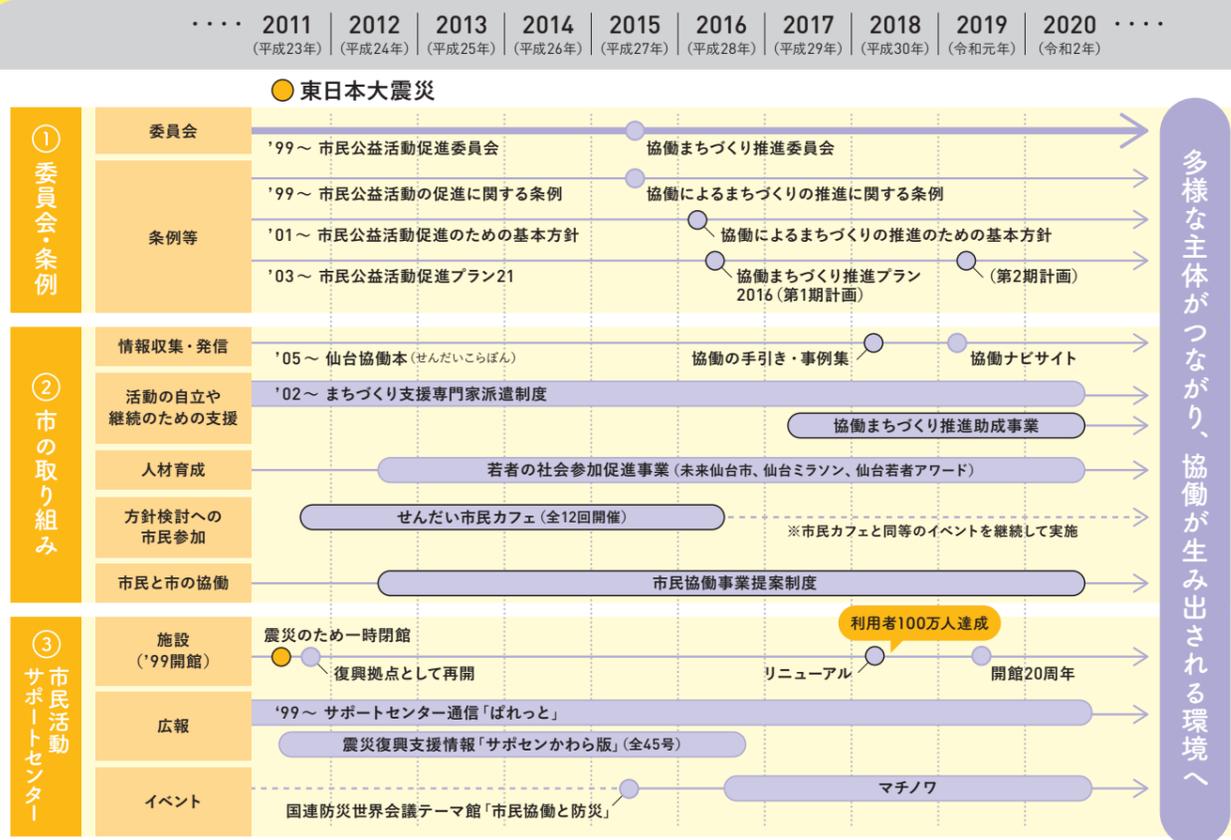
① 委員会・条例

協働まちづくりの方針を検討

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」に示された協働によるまちづくりを進めるための考え方や基本的な施策をまとめたものが「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」です。方針の策定にあたって、市と推進委員会は市民と意見交換を行う「せんだい市民カフェ」を開催し、推進委員会が取りまとめた提案を市長に対して答申する(意見する)など、市民の皆さんの意見を反映しました。市では、この方針をもとに、協働を進めるさまざまな取り組みをおこなっています。



せんだい市民カフェ「わたしたちの協働指針を作ろう!」の様子(2014年7月)



③ 市民活動サポートセンター

「市民活動の拠点」から「協働の拠点」へリニューアル

仙台市市民活動サポートセンターは、1999(平成11)年の開館以来、市民活動をおこなう方々の拠点施設として利用されてきました。ここに、連携の輪を広げる機能をプラスするため、「まちづくりに関わる人が集い、アイデアを交え、つながりを育む場」をコンセプトに、交流スペースを広げたり、情報発信の強化などをおこなっていました。



エントランスホール(1階)
交流・イベントスペースとして活用できます



交流サロン(5階)
レイアウトを変えて使えるフリースペースです

協働を知る・つながるイベントの開催

市民活動サポートセンターでは、市民活動や協働の取り組みの展示やシンポジウム、交流会などを集めたイベント「マチノワ」を毎年開催しています。

② 市の取り組み

13年ぶりに手引きを改定

協働の考え方を広め、参加者を増やしていくため、協働の考え方や進め方をまとめた「協働まちづくりの手引き」と、市内の協働の取り組みを紹介する事例集「協働まちづくりの実践」を作成しました。市民活動団体や推進委員会のほか、市民ライターの皆さんが参加し、協働で制作しています。

新しい支援制度がスタート

複数の団体が連携して地域の課題解決やまちの魅力づくりなどをおこなう事業を支援する「仙台市協働まちづくり推進助成事業」を新たに作りました。この制度では、助成金の支援とあわせて、専門家によるサポートをおこなっています。ノウハウを蓄積し、活動の安定性と継続性を図る点が特徴で、他の政令指定都市にはない制度です。

八木山ハーブまちづくり

高齢化が進む太白区八木山地区では、連合町内会や地域福祉団体、大学などさまざまな団体が協力しながら、ハーブを通じた支え合いのまちづくりをおこなっています。ハーブ栽培やハーブを使った料理教室などをとおして、将来の支え合いの仕組みづくりを見すえ、地域の住民が楽しみながら、顔と顔の見える関係づくりを進めています。

支援制度を活用しています!



若者のまちづくりを応援

「若者の社会参加促進事業」として、若者のアイデアを地域の課題解決にいかす「仙台ミラソン」や、活動の優れた若者団体を表彰する「仙台若者アワード」などをおこなっています。

「仙台若者アワード2019」の様子(2019年11月)



第3期仙台市協働まちづくり推進委員会
委員長
風見正三

つながりの力で 魅力あふれる まちの実現へ



21世紀は、成長から成熟へ、社会が変化し続けていく時代です。時代の変化の中で、いかに市民の生活の質を向上させ、また、そのために、いかに経済や環境がバランス良く発展する、サステナブル（持続可能）な社会をつかっていくかが大切だと考えています。これを実現するための方策が、住み慣れた地域の活性化、すなわち、コミュニティの中での協働の仕組みづくりなのだと思います。

私たちは、これまでも、地域のさまざまな団体が連携することで、課題解決や魅力あるまちづくりが生まれた事例を目の当たりにしてきました。特に、東日本大震災からの復興過程においては、震災以前から地域の活動や団体同士のつながりが強い地域できめ細やかな助け合いが行われたり、またNPO等の団体と地域が協力することで新たな活動が展開する例もありました。こうした経験は、日頃からの連携の大切さを認識するきっかけとなり、今もなお、生き活きとした地域をデザインする力となっています。

課題として、活動の担い手がなかなか増えないとの声も聞かれますが、それぞれの団体が自分たちの強み・弱みを理解し、より一層発信する力を持つことも重要だと考えます。そのことで、さまざまな世代や立場の方々の関心が得られ、みんなが街を自分のものとして主体的に参加する地域社会が生み出されると思うのです。

このようなことを踏まえ、仙台市では、活動団体の発信力強化やノウハウ共有、人材育成、交流の場の提供など、さまざまな施策を組み合わせながら協働のまちづくりを進めていきます。市民一人一人が手を取り合うことで「心豊かに暮らせるまち」を実現し、魅力あふれる仙台のまちを未来に引き継いでいきましょう。

Information

～使う・調べる・相談する～

情報・相談窓口／活動場所

仙台市市民活動サポートセンター

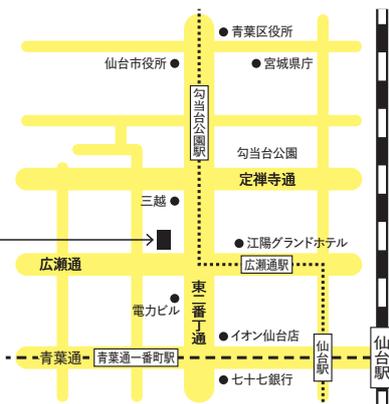
サポセン

仙台市市民活動サポートセンター



仙台市市民活動サポートセンター

..... 地下鉄南北線
- - - 地下鉄東西線



さまざまな分野の市民活動・協働を支援する施設です。「自分たちの住む街や社会をもっと良くしたい。」そんな市民の自発的な活動を応援します。

- ・市民活動や協働に関する相談受付
- ・イベントや講座の開催
- ・研修室やフリースペースなどの貸出
- ・情報収集及び情報発信の支援

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3

TEL: 022-212-3010 / FAX: 022-268-4042

● 開館時間 月～土 9:00～22:00、日・祝 9:00～18:00

● 休館日 毎月第2・4水曜
(祝日にあたる場合は翌日)
年末年始

● URL <https://www.sapo-sen.jp>



サポセン

支援情報／活動事例

協働ナビゲーションサイト「できるよ！仙台」



事例を紹介した動画
「みんなが主役 協働のまち-仙台-」



これから活動を始める方からすでに活動を行っている方まで、幅広く活用していただける情報を発信しています。

- ・仙台市の支援制度
- ・活動に利用できる施設
- ・相談窓口
- ・活動を充実させるためのヒントとなる活動事例(※動画でもご紹介しています)

● URL www.kyodonavi-sendai.jp



できるよ！仙台



事例紹介動画

手引き／活動事例

協働の手引き・事例集「協働まちづくりの実践」



協働を知り、始めるためのヒントが詰まった「手引き」と、市内の25の協働事例を写真や図解を交えて紹介する「事例集」を配布しています。

- 配布場所
- ・仙台市市民活動サポートセンター
- ・市役所本庁舎 市民のへや
- ・各区役所まちづくり推進課など



手引き・事例集

令和2年3月／仙台市協働まちづくり推進委員会 仙台市

問い合わせ先：仙台市市民協働推進課 TEL 022-214-1089 E-mail sim004100@city.sendai.jp